

小児(6か月～11歳)の新型コロナワクチンの主な副反応と対応

主な副反応： 発熱/頭痛/倦怠感 接種部位の痛み

主な副反応は成人や12歳以上の小児と同様です。頻度は同じくらい(接種部痛等)か、やや低い頻度(発熱等)*で発生します。発熱や頭痛などに対しては、市販の解熱鎮痛薬などでも対応が可能です。
*米国での臨床試験(治験)より
ドラッグストアやネットショップ・通販でも購入可能ですので、接種する場合は事前準備をご検討ください。
注：発熱が数日以上持続する場合は副反応以外の原因も考えられますので医療機関受診をおすすめします

5歳以下では 副反応は多い？

5歳以上の小児と比較しても、全身性の副反応の頻度はさらに少ない傾向にあります(発熱が約5%)

重篤な副反応

いずれも非常に稀です
・アナフィラキシー/強いアレルギー症状：とくに小児で起こりやすいということはありません
→接種会場で初期対応を行います、必要があれば救急施設で治療や経過観察を行います。
・急性心筋炎：接種後(とくに5日以内に)、胸の痛み・ぐったりしている等があれば
→地域の病院の救急外来を受診ください。
小児でリスクが高いということはなく、青年～若年成人と比べても頻度はさらに減ります。

小児(~11歳)で安全に使用可能な解熱鎮痛薬：市販薬の例



バファリン ルナJ
錠剤：7歳～成人



アセトアミノフェン錠 HP
錠剤：5歳～成人



*注：バファリンルナiは15歳以上



小児用バファリン CII 錠剤：3～14歳
小児用バファリン チュアブル：3～14歳



小児用アセトアミノフェン坐薬(各種)
1歳～12歳

配合薬の例：ナロン錠(8歳～)・新セデス錠・セデスV(7歳～)・小中学生用ノーシンピュア(7歳～)・ムヒのこども解熱鎮痛顆粒(1～10歳)・キッズバファリンシロップs(3か月～6歳)

選択基準：有効成分がアセトアミノフェンで、この年齢帯に適応のある市販薬。
その他の有効成分(エテンザミド・カフェイン・グリシン等)を含む配合薬は本資料では推奨していません。使用は可能です。